

関東森林管理局入札監視委員会審議概要（平成20年度第4回）

開催日及び場所		平成21年3月3日(火)関東森林管理局4階中会議室	
委員		新井敏夫(委員長)、淵上勇次郎(高崎商科大学学長)、石井彰慈(高崎商科大学教授)、高田敏明(弁護士)	
審議対象期間		平成20年10月1日～12月31日	
工 事	抽出案件	22件	(備考)抽出対象件数 工 事 : 44件 測量・コンサル : 23件 物品・役務調達 : 174件 計 241件
	一般競争	19件	
	公募型及び工事 希望型指名競争		
	通常指名競争		
	随意契約	3件	
測量・建設コンサルタント等 業務(抽出案件)		18件	
物品・役務調達(抽出案件)		23件	
委員会からの 意見・それ に対する回答等	委員からの意見質問		局回答
	<p>参考資料の審議</p> <p>(新井委員長)</p> <p>コンサルについて落札率に大きな差があるが、成果品について確実なものを納入されているのか。また、予定価格について検討が必要でないか。</p>		<p>(企画調整室長)</p> <p>前回は、コンサルについて御指摘を受けましたが、全省庁的にも落札は低い傾向にあるものと考えております。また、コンサル業務には低入札制度というものはありませんし、資材購入がなく、基本的には人件費のみであり、予定価格のうち資材の割合が高い工事と比べ、価格を落としやすいと思われます。</p> <p>また、実績づくりという事もあるかとは思いますが、成果品についても問題があった事例は、これまでに報告されておらず、契約は適正に行われております。</p>

	<p>(淵上委員) 一般競争で落札率や競争参加者数から見て変動について、どう判断されているのか。</p> <p>(淵上委員) もう少し、1者応札が減少するといわれています。</p> <p>(石井委員) 時系列分析グラフについて 季節的変動とか、地域別とか、きめ細かく分析しなくてはならないのではないかと。 (R014)については会計法第29条の3第4項により随意契約となっているが、どういった内容なのか。</p>	<p>(企画調整室長) 時系列分析グラフの全体像から落札率の変動はそうないと思われま。なお、競争参加者数については、指名競争の時と比較すること自体どうかと思われまますが、減少傾向にあるところまです。</p> <p>(企画調整室長) 管内地域によってバラツキがありまして、例えば、時系列分析グラフ10ページの上越森林管理署では、競争者数は相当程度確保されております。また、一者応札はなく落札率も低位傾向にあり、地域によってもバラツキがあり、競争性の確保がどういったところで機能しているのか分析していく必要があるかと思っております。</p> <p>(治山課長) (R014)については、公募により企画書を提出させ、それを点数付けし、最も高い者と契約する企画競争による方法を採用しており、契約方式としては、競争性のある随意契約に分類されています。 内容的には調査設計の手法の調査で、調査方法等について企画書を提出させ、その中で最も有利な者を選ぶということまあります。</p>
--	--	--

	<p>(新井委員) 一般競争入札にはそぐわないものと考えて良いのでしょうか。</p> <p>抽出案件についての審議</p> <p>(淵上委員) 工事費内訳書の分析を見ますと、(A002)の地拵工について予定価格と応札者との工事内訳書に大きな開きがある。 また、(A011)の工事費内訳書の分析を見ますと予定価格に対し、○業者、○業者の工事費内訳書と大きな開きがあるが、その原因はなにか。 関連して次から類似の工事を発注される時、予定価格を前回、今回のものを参考に出していかれるのか。</p>	<p>(森林整備課長) 例えば、都道府県の設計調査した事例を分析し、それらを基に望ましい形を提案する、という事業の内容です。</p> <p>(治山課長) 通常仕様書を示して価格競争させるわけですが、この場合、仕様書を示さないで最も適切なやり方を公募して、そのやり方で調査をしてもらうという競争内容であります。</p> <p>(森林整備課長) 知識や技術がないと、取りまとめを行ったり、適正な提案をすることは難しいのではないかと考えております。</p> <p>(治山課長) (A011)について説明しますと、コンクリート谷止工を設置しまして、水圧計又は土圧計を設置し、その後モニタリングをしていくという工事であります。 計器自体が450万円位するものですが、発注者が積算するときは、工事費の中に含めてしまうと、その後の間接経費の(定率の共通仮設費)対象となり、過大な積算になってしまうことから、計器の部分は共通仮設費に積み上げて積算してありま</p>
--	--	---

	<p>(石井委員)</p> <p>治山工事で不落随契が3件あるが、その理由は。</p>	<p>す。</p> <p>一方、業者の見積もりは工事費に計測機器設置の計器分も含めて積算してあるようであり、共通仮設費と逆転しているため、異常な開きとなったものと考えています。</p> <p>(A002)については、地拵工が160%となっているが、通常積算するときは林野庁が定めております標準歩掛かりと、関東局管内の地域の単価を調査し積算しております。工事施工する地域によって若干バラツキがあります。</p> <p>この案件について、予定価格が3万円と少額であるため、僅かの差がパーセント的には大きくなったものと思われます。</p> <p>標準歩掛かりと地域の実勢単価により積算しているところであり、この案件の開きをもって次回の予定価格の積算に反映させることにはなりません。</p> <p>(治山課長)</p> <p>3件については、2回公告しております。9月に1回目の公告を行い、10月に1回目の入札及び再入札を実施しました。それでも落札しないので、もう一回1ヶ月間公告期間を送って11月に2回目の入札と再入札を実施しましたが落札しなかったものです。</p>
--	---	--

	<p>(石井委員) 事業者は手一杯で忙しいというのが理由の一つですか。</p> <p>(石井委員) 予定価格が低かったのではないか。</p> <p>(石井委員) 工事が僻地であるとか、難度が高いため入札に魅力がないものもあったのか。</p>	<p>日光署においては、第1四半期・第2四半期に20件ほどの工事を発注しており、また他の公共工事も発注されていることから、技術者の配置が難しいことや、秋口の入札であったこと等から応札者も少なく、入札価格も予定より上回ったものと思われる。</p> <p>(治山課長) 理由の一つではないかと推測をしています。</p> <p>(治山課長) 予定価格については、標準的な積算をしておき適切であると考えています。 また、不落になった案件の入札結果では予定価格ギリギリのところでは不落（(D O O 1)は100.1%で不落）になっており、このことから予定価格については、おかしいものとは考えていません。</p> <p>(治山課長) 工事自体については、工事箇所が奥地であったり、災害復旧工事の現場で、再崩壊しやすい、時期的に降雪が予想されるなど、複合的要素があったものと考えています。</p> <p>(企画調整室長) 治山工事の不落随契案件につ</p>
--	--	--

	<p>(石井委員)</p> <p>不落随契は好ましくないので、原因がどういところにあるかを分析し、その対応が必要である。</p> <p>(高田委員)</p> <p>予定価格をオーバーして、不落になったのに、その相手に交渉して随契により99%、97%で落札しているのが現状。その結果の落札率が高すぎで不適切だという、一般の議論は理解できない。</p> <p>予定価格とは何なのか。改善するなり合理化する事は必要だが、予定価格の積算が正しければ、無理をせずにその価格と近いところで契約をして行くのがあるべき姿と思われる。</p> <p>局も、予定価格の中身の合理性については、自信を持って堂々としていることが必要ではないかと感じている。</p> <p>また、一者入札を改善しなくてはならないことは理解できるが、作為的に発注者側から</p>	<p>いては、(D001)は、1回目に 応札者がなく、2回目の入札参加 者との不落随契を行っております。</p> <p>(D002)については、1回目 不落、再入札も不落、2回目は 応札者なし、1回目の入札者と 随契を行っております。</p> <p>(D003)については、1回 目、2回目とも応札者がなかつ た。1回目入札者の参加資格申 請者と随契を行っております。</p> <p>(治山課長)</p> <p>入札実施の時期が遅れたこと も原因の一つと考えており、今 後は、早期発注するように努め たいと考えております。</p> <p>(企画調整室長)</p> <p>応札者を増やし、競争性を確 保する努力については、局とし ても行って行かなければならな いと思っておりますが、国民の 皆さんに疑念を持たれる行為に ついては、行っておりません。 公平性・透明性を保ちつつ、一 者応札解消の努力は行って行き たいと考えております。</p>
--	---	--

	<p>働きかけるようなことは絶対やるべきではないと私は思っております。</p> <p>局では、そういった事は無いかと思いますが、是非気をつけてください。</p> <p>(高田委員)</p> <p>一者入札の改善については、PRするとか中身をよくしていくことが重要である。</p>	<p>(企画調整室長)</p> <p>公平性・透明性を保ちつつ、入札案件へのアクセス機会を増やすことは必要だと思っております。</p> <p>そのような観点からは、昨年の12月からHPで五月雨式にアップしていた入札公告を一覧表にまとめ、事業者の方が見やすいようにHPを変えたところであり、今後とも、そのような努力をしていきたいと考えております。</p> <p>(森林整備課長)</p> <p>骨太の方針の中で、コスト縮減というのが公共事業の中で位置づけられており、年3%、5年で15%のコスト縮減が位置づけられております。</p> <p>コスト縮減の中には、設計と内容を見直して、コストの安いものを入れていく、又は社会的なコスト低減を見込んでいくこともありますが、競争性の高い入札制度を導入してコスト縮減を図る方向もあります。先生がおっしゃるように設計積算がしっかりしているから、落札率が高くて何か問題があるのかとは、言いたい気持ちも分からない</p>
--	---	--

	<p>(新井委員長) P 5 7・P 5 9・P 6 3の分析グラフについて、接近しているが検討したのか。</p> <p>(石井委員) 埼玉森林管理所管内の競争参加者は特定の会社1者のみである。 また、林道（B 0 0 6）について、近在の物件について他の業者がすでに受注しており、本来ならばこの業者の共通仮設費は低くなるべきなのに、かなり高く見積もられてい</p>	<p>いわけでもないです。しかし、公共事業のコスト縮減という政府全体の方針の中にもありますので、入札制度で縮減していくというの、取り組まないとならないということをご理解願いたい。</p> <p>個別の会社に対して入札制度をPRする、または、お願いするという事は、出来ない状況にありますので、幅広い方が集まる会議に呼ばれば、PRさせていただきます。はあります。</p> <p>指名競争の時代のように個別の会社に応札をお願いするような時代ではなくなりました。</p> <p>(企画調整室長) 業者が積算を行う際には積算ソフトを使えば類似の線形も出てくる可能性もあるのかと思っております。</p> <p>ただ、共通仮設費とか一般管理費のところ、若干差が出ており、こういった所で企業努力がなされているのではないかと考えております。</p> <p>(森林整備課長) 業者の方になぜこうなったかは聞いていません。一般論として、林道工事の場合、今回災害復旧工事なので、災害復旧に係る重機の搬入とか、想定していたものが違ったのではないかと</p>
--	---	---

	<p>るために、落札者が受注することとなっている。共通仮設費がこのように見積もられたのは、何か理由があるのですか。</p> <p>(石井委員) (B006)については、2者しかないようだが。</p> <p>(淵上委員) 低入札とは何%程度のことをいうのですか。</p> <p>(高田委員) 低入札について書類上違法な計算はないですよ。最低賃金法違反の給与を計算しているとか、重機稼働時間を8時間で行っているとか調整・整備が何もやっていないとか、違法がないか確認してください。</p> <p>(石井委員) (E002)の随契について、入札で一番安い価格を入れた者ではない者と契約しています。不落随契の場合、通常予定価格に近い者から見積書を取られると思いますが、この場合はどのような内容でしたか。</p>	<p>思われますが、詳細には聞いていないのではっきり解りません。</p> <p>(森林整備課長) 立地条件的にも天竜署管内は場所も悪く、山も深く、入る業者も少ないようです。</p> <p>(経理課長) 3分の2から10分の8.5の範囲内で、予定価格に乗じて得た額に満たない場合です。個々の工事によって率が変わってきます。</p> <p>(経理課長) 低入札については、契約内容に適合した工事が履行できるか確認することになっています。</p> <p>(経理課長) 総合評価方式ですので、再度公告すると1ヶ月の期間を取られ工期も短くなって、更に落札が厳しいということで、不落随契やむなしということで行った。1番札の者に見積書の提出を求めるなど折衝したが、これ以上は無理ということで断念しています。このため、2番札の者とその後折衝したところ、予定価格以下の提示があり契約したところでした。</p>
--	--	---

	<p>(石井委員) 見積書は一回とりますよね、だめだとまた、見積書をとるのですか。</p> <p>(新井委員長) 物品については、20～30%の予定価格との開きで落札している。 物品・役務の19年度3月期の契約は3億ぐらい、後は数百万である。平成20年度はどれぐらいの契約になるのか解らないが、もう少し集中しないよう検討する必要があるのではないか。 4月に入札するとか、物品・役務調達ついて平準化する必要があるのではないか。</p>	<p>(経理課長) 見積書は2度取ったと思います。</p> <p>(経理課長) 年度当初に予算的に余裕もなかったりすると、こういう時期になってきたり、準備用品についても年度末に用意しておかないと4月から使えないということもあります。 物品については、今は、局で集中調達を実施しています。</p>
<p>委員会による意見の具申 又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	